

対馬暖流は蛇行しながら北上 対馬暖流の流量は平年の3分の2 今後の沿岸水温は平年よりもかなり高い

2024年4月10日～17日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。
対馬暖流は奥尻島の西方から本道へ近づき、せたなの沿岸寄りを北上した後は、積丹半島のはるか沖合を流れるルートをとっています (図1c)。
対馬暖流の北上流量は約0.6 Sv (1 Sv=10⁶ m³/s) で、平年の3分の2程度となっています (2月流量の平年値は0.9Sv)。
50 m深水温は4～9 °Cで、平年並みか平年よりも約1°C高くなっています (図1a,b)。
4月中旬の余市前浜水温は「かなり高い」ですが (※ 1)、向こう1ヶ月の気温の予報は高くなる確率が70%以上となっていますので (※ 2)、今後、沿岸水温は平年よりも高く推移することが予想されます。

※ 1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyousuion/index.html>

※ 2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

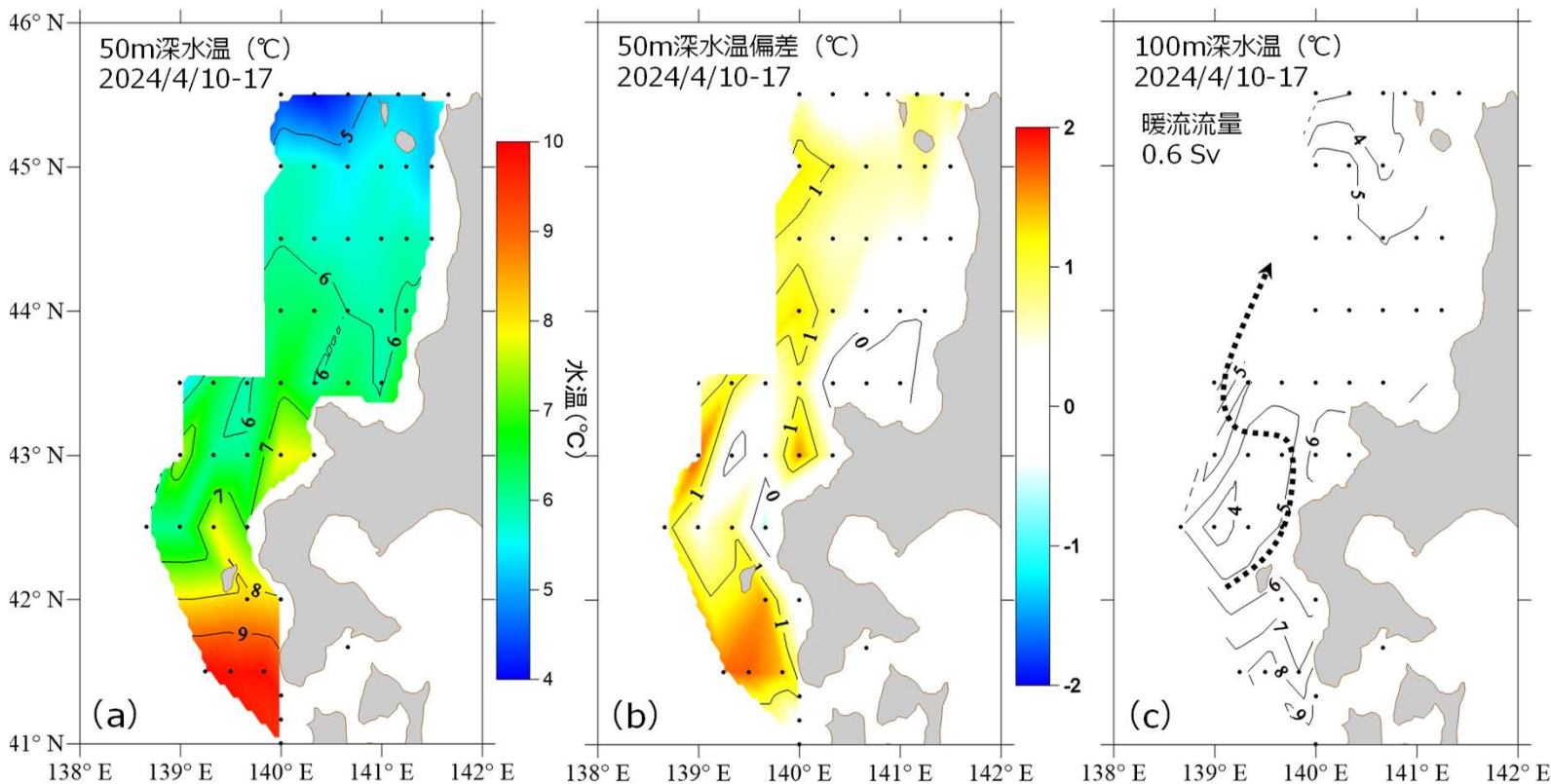


図1 2024年4月上中旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路 (矢印)。水温偏差は過去30年 (1989年～2018年) の平均値から算出。流量の単位はSv (=1×10⁶m³/s)。